

# オーバーナイト透析

---

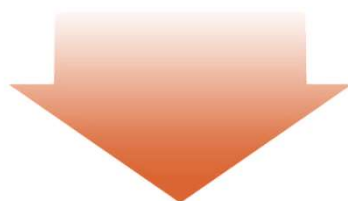
 医療法人 仁医会  
染矢クリニック  
Medical Corporation JIN-I-KAI Someya Clinic

透析を受けるようになって…

- 十分に仕事ができない
- 職場が移動になった
- 早退するので会社に引け目を感じている
- 近々透析と言われていて、仕事との両立が不安
- 家族との時間が少ない



こんな経験や不安はありませんか？



これらを解消する方法があります!!

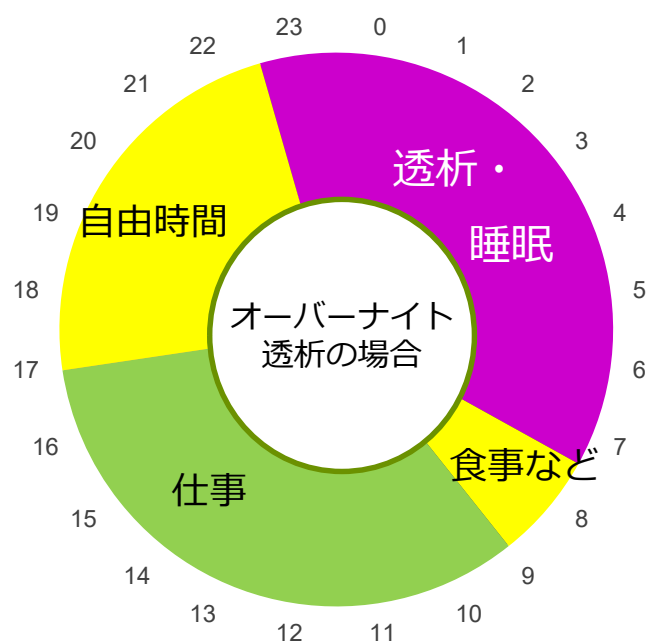
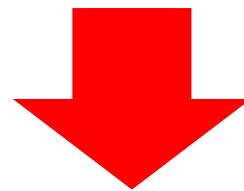
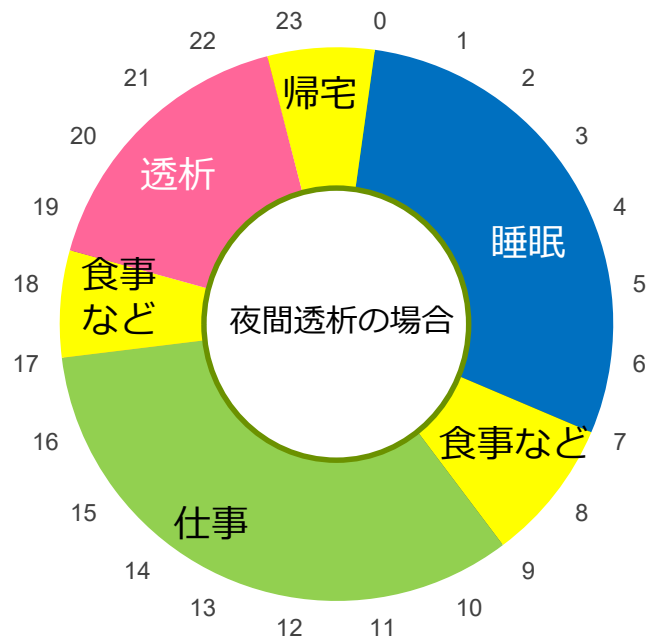
# オーバーナイト透析の流れ

22時～23時の間に透析を開始し、翌朝の6時～7時に終了します。

血圧などのバイタルチェックは、原則として透析開始前、透析開始直後、翌朝6時、終了後の4回のみでの測定とします。

8時間と聞くと、気が遠くなるように感じられると思いますが、実際の体感時間は30分～1時間程度とされています。

睡眠中に透析を行うことで、日中の時間を有効に活用していただけたと思います。



## オーバーナイト透析（夜間睡眠中透析）



オーバーナイト透析とは、夜間の睡眠時間を利用して血液透析を行うシステムです。

お仕事のあと、あるいはご自宅で夕食・団らんのあと、ゆっくりご来院いただき睡眠中に8時間程度の長時間透析をおこないます。

### オーバーナイト透析のメリット

- ◆ 活動時間の拘束がなくなる
- ◆ 長時間透析※ができる
- ◆ 治療中の苦痛が緩和できる

※長時間透析・・・1回あたり6～8時間以上の透析治療



詳しくは次ページで…

## ◆ 活動時間の拘束がなくなる

睡眠時間を利用して透析を行うため、朝起きてから寝るまでの活動時間を十分確保することができます。  
活動時間の拘束がなくなることで、就労や家族との団らん、趣味など、ご自分の時間を確保することができます。

## ◆ 長時間透析※ができる

健康な腎臓は1日24時間、一週間に168時間休むことなく働き続けています。週12時間（1回4時間）の透析を行っても、健康な腎臓の10分の1以下にしかありません。  
長時間透析は、1回6～8時間以上の十分な透析量を確保することが可能で、QOL（生活の質）や生命予後のさらなる改善につながると考えられます。

### 長時間透析のメリットは？

- 除水量が緩徐となるため無理な除水とならず、透析中の血圧変動が穏やかです
- より多くの毒素が除去されるため、食事制限が軽減されます
- 合併症の予防や掻痒感の軽減、栄養状態が良くなることによる貧血の改善などが考えられます。
- 貧血や降圧薬、リン吸着剤など内服薬の減量につながると考えます

## ◆ 治療中の苦痛が緩和できる

日中に行う透析は、他の患者さまの話し声、血圧測定やスタッフによる処置の音などが頻繁に聞こえてうるさく、リラックスして透析を受けられない方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

オーバーナイト透析は就寝中の治療ですので、睡眠を妨げないように、血圧測定は原則開始前後と終了前後の4回程度のみ行います。プライバシーを考慮したベッド環境も整えることにより、リラックスして治療を受けていただくと考えます。

また、就寝中に治療を行うことにより、透析の体感時間が大幅に短縮され、他施設でのアンケート結果ですが、慣れてくるとベッド上での拘束時間の体感時間は1時間程度であり、拘束によるストレスを感じなくなったとの回答が多かったようです。

### 長時間透析のデメリットは？

- 睡眠困難を伴う場合がありますが、ほとんどの方が徐々に慣れていけます。



オーバーナイト透析について簡単に説明してきましたが、ご質問等ございましたら透析室スタッフまでお問い合わせください。